

## 2022（令和4）年度第7回祭り実行委員会 議事録

開催日時：令和5年2月5（日） 14:00～15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：実行委員：宮崎委員長、上中村：小峰、杉山、國本。

中中村：大宅、春山、斎藤、栗原、磯川、永井、佐藤（勇一）

下中村：安達、澤木、工藤、岡本（広志）、鈴木、佐藤（和男）、

御輿連：原・菅沼

町内会5役：江口（会長）、藤原（会計）、冨塚（庶務）長尾（中会長）、森田（下会長）

（司会：宮崎

記録：國本）

敬称略

### 議事

#### 1、どんど焼きの反省

##### （1）各所担当のコメント

全体指揮	今回、出初式がある事を考慮し、委員会で事前放水を行った。次年度以降はスケジュール調整の上、消防団による事前放水を行う方が良いと思う。今回、消防団（第一分団・第二分団）は予定より早めに会場に来てくれており感謝する。
受付、粗品渡し	受付での粗品引き渡しの際、1/3の方が引換券持ってこなかった。持ってこなかった理由は引換券の存在が分かりづらかったからだと思われる。次回案内チラシ作成時は、引換券がわかりやすい表示にしてほしい。
お焚き上げ預かり	家庭ごみを袋に入れたまま持ち込む方がいた。 → 次回以降、受付前に箱を置き、中身だけそこに投入してもらうようにすれば避けられる。袋は別途預かる形。
焚き上げ	様々なご意見を言われる方もいるが、それなりの対応が必要。担当者を決めておくことも重要。
三又	団子焼きは金属製のものを引き続き使用して継続して実施する。 焼きながら三又が回転しないように加工を行っている。
会場	次年度の燃料となる木材の確保が必要だと思う。
安全、記録	写真撮影して広報含め関係者で共有した。

##### （2）会計報告（会計担当）

- ・委員会予算5万に加え、各自治会から5,000円ずつ徴収したが、支出は約5万で収まった。今後、お祭りでもご厚志が期待できないと思われるので事業原資について検討が必要。  
（今回のどんど焼き会場でのご厚志合計は1,500円）
- ・挨拶周りのタオルの補充が必要。

##### （3）来年度実施について

- ・通常の形で実施したい。（コロナ感染状況については注視していく）
- ・今後の開催日程は1月8日以降の土曜を原則とし、来年度は13日（土）としたい。

- ・火つけの場面を見たい人がいるので、チラシには火付け時刻と開始時間を明記しておく。

## 2、みこし祭り、盆踊り大会

### (1) 開催について

- ・通常開催としたい。(コロナ感染状況については注視していく)

### (2) 日程

- ・候補日：7月15日(土)、16日(日)翌17日は休日、22日(土)、29日(土)  
※沼、馬場町内会と日程が重なるが、馬場町内会との踊り手の応援がなくなれば、馬場と同じ日に実施することも可能。
- ・日程調整について、3連休全部運営に使用するのは参加者の負担が大きい。
- ・子供会の意見も確認する必要がある。

### (3) 実施形態の検討

#### ・盆踊りの内容

- (踊り手の減少) 馬場町内会への応援が難しくなっている。
- いろんな方々が参加できる要素が重要。プログラムに他の要素を入れることも考えられる。
- 過去に南中ソーランを組み込んだことにより子供の参加が増えた。今後はエイサーも学校でやるのでそれも入れたらどうか。
- 中学校の和太鼓なども参加してもらおう。
- 祭りの名称を盆踊りから【サマーフェスタ】のような名称に変えることも必要。

#### ・みこし祭り

##### - みこし巡行時間

午後の巡行は猛暑により厳しくなっている。子供御輿も気温が高いと実施できない。

御輿連での打ち合わせでは、安全な巡行を行うために、午前中(出発は10時頃)に巡行したいという意見が多数を占めていた。和鼓連も同様。

→ 全体スケジュールの調整が必要。会場設営については、午前中の作業を午後に回すという考え方でいいのではないか。準備時間短縮のために飾りつけの簡素化も要検討。

← 午前中巡行を前提として企画を立て、次年度のまつり実行委員会で決定する。

### (4) その他

- 盆踊りの馬場との交流がなくなると、踊りから手を引く方もいるので、踊り手さんたちとの話し合いが必要。
- 今後、ご厚志の収入は以前ほど期待できないと思われるので、収入について検討する必要がある。
- 先日実施したやぐらの整備時にステージ用の木の板が傷んでいるのが確認された。  
→ 町内会予算で修繕することを検討。

## 3、来年度実行委員構成についての調整

### (1) 4年ぶりの開催となるので、現実行委員はできるだけそのまま続けていただきたい。

最終調整は、自治会ごとに自治会長から行う事。(2月中旬)

→ 委員就任は本人に必ず確認する事。

- (2) 現町内会4役は、それぞれ次年度の実行委員役職を担当してほしい。
- (3) 実行委員の一般公募も考える。
- (4) 他の委員会への参加もあるので、祭り実行委員の定員を増やし過ぎないように制限したらどうか。
- (5) 令和4年度委員長も副委員長補佐として残る。
- (6) 本日参加者の一部から次年度の委員就任について了承を得た。
- (7) 前回祭り開催時の会計担当大倉氏にも参加するよう依頼する。

以 上